



现代日语助词 解析

李奇术 杨秋芬 | 著

外语教学与研究出版社



现代日语助词 解析

李奇术 杨秋芬 | 著

外语教学与研究出版社
北京

图书在版编目(CIP)数据

现代日语助词解析/李奇术,杨秋芬著.—北京:外语教学与研究出版社,2012.7

ISBN 978-7-5135-2270-0

I. ①现… II. ①李… ②杨… III. ①日语—助词—研究
IV. ①H364.2

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2012) 第 167368 号



出版人:蔡剑峰

责任编辑:蓝佳

封面设计:高蕾

出版发行:外语教学与研究出版社

社址:北京市西三环北路19号(100089)

网址: <http://www.fltrp.com>

印刷:紫恒印装有限公司

开本:730×980 1/16

印张:24

版次:2012年7月第1版 2012年7月第1次印刷

书号:ISBN 978-7-5135-2270-0

定价:38.00元

* * *

购书咨询:(010)88819929 电子邮箱:club@fltrp.com

如有印刷、装订质量问题,请与出版社联系

联系电话:(010)61207896 电子邮箱:zhijian@fltrp.com

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话:(010)88817519

物料号:222700001

众所周知，日语是世界上一一种极其特殊的语言。迄今为止，众多语言学家对其特殊性进行了深入而系统的归纳，但始终未能形成定论，尤其是凝聚了日本民族文化精髓的语法部分更是众说纷纭。这种现状必然给域外的日语学习和日语教育工作造成一定的混乱，其中日语助词部分的问题尤为突出。因此有着多年教学实践经验的笔者深感有必要对重中之重、难中之难的日语助词加以重新认识，进行更为细致的归纳、分析、研究并予以系统的理论定位。

基于以上具体情况，根据我国目前的日语教学现状，以及日语级别水平资格的认定和社会日语人才的需求，我们按照《高等学校日语专业基础阶段教学大纲》、《高等学校日语专业高年级阶段教学大纲》和《日本语教育事典》所指定的日语助词范围，编著了《现代日语助词解析》一书。本书分为“实例解说篇”和“语义辨析篇”两部分。在“实例解说篇”中收入 119 个助词，按照格助词、提示助词、并列助词、副助词、接续助词和终助词的功能进行了分类与用法解说。在“语义辨析篇”中对语义近似但又不尽相同的 48 组助词从多个角度进行了对比、辨析。

概括来讲，本书主要具有以下几个特点：

1. 首先从整体上对日语助词研究的历史沿革及现状进行了扼要的梳理。在此基础上，针对助词存在的“分界不清”“功能条项欠翔实”“意义说明笼统模糊”等各种问题进行了全面而细致的分析总结。

2. 参考国际上通行的语法理念，在充分考虑日语特性的基础上，对日语助词的分类、归属、功能等重新加以澄清、填补和完善，并列举适量的例句对该助词的意义、用法进行解说演示，使之更为系统和明确。

3. “副助词”和“接续助词”功能多、用法复杂，词与词之间差异微妙，即使是同一词性、同一功能，仍存在着不少的差异，可以说是日语助词中的一个难点，学习起来十分困难。为此，我们对传统的认识、定位、分类等语法定义作了一定程度的添加和修正。

4. 本书的第二部分从文化内涵、情感表现、意图指向等更深层角度对助词之间的近义现象进行了比较分析，进一步地阐明了其核心功能与外延功能的微妙差别。

一个助词可以具有多项的意义功能，但构成其核心的只能是其中一项。这一项功能决定了它的本质，也决定了它存在的价值，除此之外的其他任何功能，都是这一核心功能的外延或衍生。揭示出核心功能就能把握所谓同义词、近义词之间的区别；了解了外延功能的渊源，就能体察在使用中所要表现或所能表现出来的意义、情感上的微妙之处，引导学习者更准确地运用助词遣词造句，进行正确而流畅的语言交流。

5. 本书针对日语的助词难点，做了全方位深入浅出的解说，论述的内容贯穿整个日语的方方面面，力求以理论联系实际的方式解答日语助词的疑难问题。本书既适合于本科生、研究生和自学者学习日语的需要，同时也可以给日语工作者、教育者等提供参考。

在本书的著作过程中，得到了多位日本教育专家及修刚教授、河北大学日语系退休教师孙锐副教授等国内知名学者的指点与帮助；纪薇、任克、李琨、李静等一批新秀教师也给予了我们很多中肯的意见与支持；在计算机文字处理方面得到了李文波同志的鼎力帮助，在此一并表示衷心的感谢！另外，本书在著作过程中，从前人的相关著作或论述中获得了很多有益的启迪。由于参考的资料较多，无法一一列举，谨在此致以真诚的谢意，并希望各位前辈及同仁予以谅解。最后，对为本书出版作出积极努力与贡献的外语教学与研究出版社的薛豹先生及该社所有同仁表示由衷的感谢！

由于时间仓促，水平有限，不足之处在所难免，殷切希望各位读者、同行提出宝贵的意见。

著者

1 前言

1 (上) 实例解说篇

2 第一章 格助词

- 2 第一节 格助词「が」
- 5 第二节 格助词「の」
- 6 第三节 格助词「を」
- 7 第四节 格助词「に」
- 11 第五节 格助词「へ」
- 12 第六节 格助词「で」
- 13 第七节 格助词「と」
- 15 第八节 格助词「から」
- 17 第九节 格助词「より」
- 18 第十节 格助词「まで」
- 18 第十一节 格助词「って」

20 第二章 提示助词

- 20 第一节 提示助词「は」
- 22 第二节 提示助词「も」
- 24 第三节 提示助词「こそ」
- 25 第四节 提示助词「でも」
- 26 第五节 提示助词「さえ」
- 27 第六节 提示助词「だって」
- 28 第七节 提示助词「すら」
- 29 第八节 提示助词「しか」
- 29 第九节 提示助词「ほか」
- 30 第十节 提示助词「ったら／たら」

- 31 第十一节 提示助词「ってば / てば」
- 31 第十二节 提示助词「って」
- 32 第十三节 提示助词「しも」
- 33 第十四节 提示助词「なんて」

34 第三章 并列助词

- 34 第一节 并列助词「と」
- 36 第二节 并列助词「か」
- 38 第三节 并列助词「に」
- 40 第四节 并列助词「や」
- 42 第五节 并列助词「やら」
- 43 第六节 并列助词「だの」
- 44 第七节 并列助词「なり」
- 45 第八节 并列助词「とか」
- 46 第九节 并列助词「の」
- 47 第十节 并列助词「たり」

50 第四章 副助词

- 50 第一节 副助词「など / なぞ / なんぞ / なんか」
- 52 第二节 副助词「まで / までも」
- 54 第三节 副助词「だけ」
- 56 第四节 副助词「ばかり」
- 58 第五节 副助词「のみ / のみならず」
- 59 第六节 副助词「くらい / ぐらい」
- 61 第七节 副助词「ほど」
- 63 第八节 副助词「ずつ」
- 64 第九节 副助词「なり / なりと / なりとも / など」
- 65 第十节 副助词「か / とか」
- 66 第十一节 副助词「きり」
- 67 第十二节 副助词「やら / とやら」
- 68 第十三节 副助词「しき」
- 68 第十四节 副助词「ぞ」
- 69 第十五节 副助词「ごと」

70	第十六节 副助词「ぐるみ」
70	第十七节 副助词「どころか」
72	第十八节 副助词「なら」
73	第五章 接续助词
73	第一节 接续助词「て/で」
78	第二节 接续助词「ながら」
79	第三节 接续助词「つつ」
81	第四节 接续助词「かたがた」
81	第五节 接续助词「がてら」
82	第六节 接续助词「し」
84	第七节 接续助词「ので」
85	第八节 接续助词「から」
88	第九节 接续助词「ものだから / もんだから / ものですから」
88	第十节 接续助词「のに」
90	第十一节 接续助词「に」
91	第十二节 接续助词「けれども / けれど / けども / けど」
92	第十三节 接续助词「が」
94	第十四节 接续助词「ば」
100	第十五节 接续助词「と」
103	第十六节 接续助词「たら」
107	第十七节 接续助词「なら」
109	第十八节 接续助词「ても / でも」
112	第十九节 接续助词「ては / では」
115	第二十节 接续助词「とも」
116	第二十一节 接续助词「ども」
117	第二十二节 接续助词「以上」
117	第二十三节 接续助词「もので / もんで」
118	第二十四节 接续助词「ものなら / もんなら」
119	第二十五节 接续助词「ものの」
121	第二十六节 接续助词「ものを」
121	第二十七节 接续助词「もの」
122	第二十八节 接续助词「して」

- 122 第二十九节 接续助词「たって/だって」
124 第三十节 接续助词「とて/って」
125 第三十一节 接续助词「ゆえ(に)」
126 第三十二节 接续助词「ため(に)」
128 第三十三节 接续助词「さかい(に)」
128 第三十四节 接续助词「くせに」
129 第三十五节 接续助词「とき」
130 第三十六节 接续助词「ところ/ところが」
132 第三十七节 接续助词「ところで」
133 第三十八节 接续助词「や」
134 第三十九节 接续助词「なり」
135 第四十节 接续助词「まま」
136 第四十一节 接续助词「きり」
137 第四十二节 接续助词「こととて」

138 第六章 终助词

- 138 第一节 终助词「わ」
139 第二节 终助词「わい」
139 第三节 终助词「ぞ」
140 第四节 终助词「ぜ」
141 第五节 终助词「とも」
141 第六节 终助词「もの/もん」
142 第七节 终助词「ものか/もんか」
142 第八节 终助词「かしら/かしらん」
143 第九节 终助词「か」
145 第十节 终助词「な」
147 第十一节 终助词「さ」
148 第十二节 终助词「よ/よう」
149 第十三节 终助词「や」
150 第十四节 终助词「い」
151 第十五节 终助词「け」
152 第十六节 终助词「て/てえ」
153 第十七节 终助词「たら/ったら」

- 153 第十八节 终助词「てば/ってば」
154 第十九节 终助词「けれど/けど/けども/けれども」
154 第二十节 终助词「こと」
155 第二十一节 终助词「やら」
156 第二十二节 终助词「が」
157 第二十三节 终助词「ね」
158 第二十四节 终助词「の/ん」

159 ————— (下) 语义辨析篇 —————

- 160 第一节 「が」和「を」
164 第二节 「に」和「と」
176 第三节 「に」和「で」
182 第四节 表示原因的「に」「で」和「から」
185 第五节 「から」和「に」
190 第六节 「に」和「を」
194 第七节 「に」「へ」和「まで」
198 第八节 表示起点的「から」「より」和「を」
203 第九节 「で」和「を」
206 第十节 「で」和「から」
208 第十一节 表示被动句中的行为动作主体的「に」「から」「によって」
212 第十二节 「に」和「ために」
215 第十三节 「より」「よりは」和「よりも」
218 第十四节 「は」和「が」
244 第十五节 「でも」和「だって」
247 第十六节 「さえ」和「も」
249 第十七节 「も」和「でも」
253 第十八节 「にも」和「でも」
255 第十九节 并列助词与体言并列句
257 第二十节 「と」「や」和「に」
261 第二十一节 「やら」「だの」和「とか」
264 第二十二节 「なり」和「か」
267 第二十三节 「たて」和「ばかり」

- 270 第二十四节 「ばかりか」和「どころか」
- 272 第二十五节 「だけに」「だけあって」和「ばかりに」
- 275 第二十六节 「でだけ」和「だけで」
- 279 第二十七节 「だけ」和「しか」
- 284 第二十八节 「だけ」和「ばかり」
- 289 第二十九节 「ほど」和「だけ」
- 291 第三十节 「ほど」「ばかり」和「くらい/ぐらい」
- 298 第三十一节 「まで」「までに」和「までで」
- 302 第三十二节 「までに」「にまで」和「前に」
- 304 第三十三节 「より」和「ほど」
- 306 第三十四节 「さえ」「まで」和「でさえ」
- 309 第三十五节 「さえ」和「だけ」
- 311 第三十六节 「こそ」和「だけ」
- 313 第三十七节 表示原因、理由的「から」「ので」「て/で」
- 318 第三十八节 「ても」「のに」和「ながら」
- 322 第三十九节 「かたがた」「がてら」和「ついでに」
- 325 第四十节 「のに」和「くせに」
- 327 第四十一节 「のに」和「には」
- 332 第四十二节 「が」「けれども」和「のに」
- 336 第四十三节 「ものの」「が」和「けれども」
- 338 第四十四节 「ものを」和「のに」
- 340 第四十五节 「ものの」和「ものを」
- 343 第四十六节 「と」「ば」「たら」和「なら(ば)」
- 360 第四十七节 「ように」和「ために」
- 364 第四十八节 「なり」「まま」「きり」和「っぱなし」

369 主要参考文献

370 后 记

现代日语 助词解析

(上) 实例解说篇

在“实例解说篇”中，将对现代日语中比较常见的 119 个助词分别按照格助词、提示助词、并列助词、副助词、接续助词和终助词的功能进行分类与用法解说。这 119 个助词包括：11 个格助词、14 个提示助词、10 个并列助词、18 个副助词、42 个接续助词及 24 个终助词。

第一章 格助词

1 性质

格助词主要接在体言或相当于体言性质的词或词组后，表示该体言在句中的地位及体言与体言之间的关系，可以构成主语、宾语、补语、定语和状语等。

2 特点

◎格助词可以单独使用，也可以和接续助词、副助词复合使用。

◎格助词之间一般不能相互重叠使用，只有「からの」「への」「との」等少数例外。

3 属于格助词的词

本章涉及的格助词如下：「が/の/を/に/へ/で/と/から/より/まで/って」，共计11个。

第一节 格助词「が」

一、接续方法

接在体言或具有体言性质的词之后，表示句子的主语。

二、意义和用法

1. 表示动作的主体及新的事物、现象、人的出现或消失。

○李さんが向こうからやってきた。(小李从对面走来了。)

○インドネシアでは大地震が起こった。(印度尼西亚发生了大地震。)

○停電で電灯が消えた。(因为停电，灯灭了。)

○中国の南部では50年来の大雪が降りました。(中国南部地区下了50年未遇的大雪。)

○春がきた。(春天来了。)

2. 表示存在的人或事物，主要应用于存在句式中，构成「…に(は)…がいます/あります」的形式。

○教室には先生と学生がいます。(教室里有老师和学生。)

○庭には木があります。(院子里有棵树。)

○昔、あるところに、竹取の翁というおじいさんがいました。(从前，某个地方，有一位叫做伐竹翁的老爷爷。)

○机の上に花瓶があります。(桌子上有个花瓶。)

○壁には絵が貼ってあります。(墙上贴着一幅画。)

3. 在提出或回答疑问代词作主语的疑问句时，用「が」表示主语。

○果物は何が一番好きですか。(你最喜欢哪种水果?)

○誰が行きますか。(谁去呀?)

○A: どれがあなたの本ですか。(哪本书是你的啊?)

B: これがわたしのです。(这本是我的。)

○A: どのかばんが好きですか。(你喜欢哪个包?)

B: これが好きです。(我喜欢这个。)

○A: 英語と日本語とどちらが難しいですか。(英语和日语哪个难?)

B: 日本語のほうが難しいです。(日语难。)

4. 做对象语，表示希望、可能、情感、好恶、能力、感知等的对象。

○私は印象派の絵が大好きだ。(我非常喜欢印象派的画。)

○今晚はカレーライスが食べたい。(今天晚上我想吃咖喱饭。)

○田中さんは作曲ができる。(田中会作曲。)

○日本語の電子辞書がほしい。(我想要一个日语电子词典。)

○東京タワーから富士山が見える。(从东京塔上能望见富士山。)

注意：在会话句中，如果回答是否定的，或者是回答时与其他事物进行对比，此时的对象语后应使用「は」。例如：

○A: 魚が好きですか。(你喜欢吃鱼吗?)

B: いいえ、魚は好きではありません。(不，我不喜欢吃鱼。)

○A: 魚が好きですか。(你喜欢吃鱼吗?)

B: 肉は好きですが、魚は好きではありません。(我喜欢吃肉，但不喜欢吃鱼。)

5. 表示主体的某一部分或侧面。主体用「は」表示，局部用「が」表示，构成「…は…が…」的形式。

○象は鼻が長い。(大象鼻子长。)

○彼は背が高い。(他个子高。)

○中国は人口が多い。(中国人口众多。)

○彼は色が黒い。(他肤色黑。)

○上海は町がきれいです。(上海街道很整洁。)

6. 做定语从句中的小主语，可构成「…が…は / を / に」的形式。此时的「が」可与「の」互换使用(请参看「の」的相关用法)。

- 母が作った料理はおいしい。(妈妈做的饭很好吃。)
- 私も先生がかいた絵を買った。(我也买了一幅老师画的画。)
- 李さんが撮った写真は素晴らしいですね。(小李拍的照片真不错呀。)
- フランス語が話せる山田さんに聞いて見ましょうか。(咱们问问会法语的山田吧。)
- 学校が始まる前には帰って来られますか。(上课前能回来吗?)

注意：以下三种情况下，定语从句中的小主语「が」一般不可用「の」取代，原有的连体修饰语「…が…の…」的形式不变。①限定的体言为非实质性（没有独立意义）名词；②取代后会产误解或歧义；③被修饰的名词之间用「の」连接。

- それは私が行ったせいかもしれない。(那全是因为我去了的缘故吧。)
- お母さんが肉を焼いている間に、ちょっと部屋を片付けました。(在妈妈做烤肉时，我稍微收拾了一下房间。)
- 土曜日が休みの会社も多くなりました。(周六休息的公司也多了起来。)

7. 表示条件从句（如假设条件从句、因果条件从句及转折、让步等从句）中的小主语。

- あなたが行けば、わたしも行きます。(如果你去，我就去。)
- 風が強いので、ほこりがひどい。(因为风大，尘土满天飞扬。)
- 熱があるのに、外出した。(发着烧，还是出去了。)
- インターネットがなかったら、われわれの生活はどんなに不便になるでしょう。(如果没有了互联网，我们的生活将会变得多么不方便啊！)
- 星が出ているから明日もよい天気でしょう。(星星出来了，所以明天应该是个好天吧。)

8. 表示修饰关系，可修饰体言，也可修饰动词。属习惯用法。

- わが国は人口が多い。(我国人口众多。)
- われらが母校(我们的母校)
- それが故に(因此)
- わがことのように喜ぶ。(像对自己的事似的高兴。)
- 走るがごとく歩いていく。(小跑似的离开了。)

9. 表示强调。

- 皆が皆悪いわけではない。(不是全都不好。)
- まったく気が気でない。(简直急得不得了。)
- これからがおもしろい。(这以后就有意思了。)
- 早い勝ちだ。(捷足先登。)
- 世が世なら。(如果生逢其时)

第二节 格助词「の」

一、接续方式

接在体言或相当于体言的词之后，表示句子的定语或主语。

二、意义和用法

1. 表示所有、所属或属性，做定语。相当于汉语的“的”。

- これは鈴木さんのカメラです。(这是铃木的相机。)
- 張さんは日本語学部の学生です。(小张是日语系的学生。)
- それは姉のかばんです。(那是姐姐的书包。)
- わたしの夢は宇宙船を研究し設計することです。(我的理想是研究、设计宇宙飞船。)
- 「趙州橋」は石の橋です。(赵州桥是座石桥。)

2. 表示同位关系。相当于「としての」「である」的意思。

- 友達の小林さんがきた。(朋友小林来了。)
- 会長の山田さんもいらっしゃいました。(会长山田先生也来了。)
- 友人の張さんは去年アメリカへ行った。(朋友小张去年去了美国。)
- わたしはノーベル賞候補の福田でございます。(鄙人是诺贝尔奖候选人福田。)
- 学部長の池田先生は出張でアメリカに行きました。(系主任池田老师去美国出差了。)

3. 将前面的句子名词化或代替前面出现过的名词。

- 隣でピアノを弾いているのが聞こえます。(能听见邻居家弹钢琴的声音。)
- 来るのが遅いね。(来得真晚啊。)
- 友人が話していたのはこの映画だ。(朋友谈论的就是这部电影。)
- 使いやすいのがほしい。(我想要个好用的。)
- 向こうに座っているのが日本人の留学生です。(在对面坐着的是日本留学生。)

4. 做定语从句的小主语或表示定语从句中希望、可能、情感、好恶、能力、感知的对象语。可代替格助词「が」使用。

- 私の買ったテレビは安かった。(我买的电视机很便宜。)
- 娘の帰りを待ちわびている。(等女儿回来等得心焦。)
- 雨の降る日は家で遊ぶ。(雨天在家里玩儿。)
- この本のほしい人はいませんか。(有想要这本书的吗?)
- ピアノのうまいのが大評判だ。(以擅长弹钢琴而闻名。)

注意：⇨格助词「が」

5. 以「のだ」的形式表示强调。

- どうしても行くのだ。(无论如何也要去。)
- その日は雨が降っていたのです。(那天下雨来着。)
- このかばんは日本で買ったのです。(这个包是在日本买的。)
- とても偉いのだ。(非常了不起。)
- 彼は風邪を引いたのだ。(他那是感冒了。)

第三节 格助词「を」

一、接续方式

接在体言或相当于体言的词之后，构成宾语成分。

二、意义和用法

1. 后续他动词，表示宾语。

- 近くのスーパーで、買い物をします。(我在附近的超市购物。)
- 李さんは毎日新聞を読みます。(小李每天都看报。)
- 今日は新しい靴を買いました。(我今天买了双新鞋。)
- わたしは毎朝牛乳を飲みます。(我每天早晨喝牛奶。)
- 韓国のテレビドラマを見るのが好きです。(我喜欢看韩国电视剧。)

2. 表示行为、动作经过的时间。常见的后续动词有「送る / 過ごす / 暮らす / 経つ」等。相当于汉语的“经过”“度过”。后续动词「経つ」时，往往省略「を」。

- 寝たきりで5年を送りました。(已经卧床不起5年了。)
- 昼休みを読書で過ごします。(以读书打发午休时间。)
- 5年間を東京で過ごした。(在东京过了5年。)
- 定年退職後の吉田さんは、故郷に戻って幸福な晩年の生活を送りました。(退休后的吉田，在老家度过了幸福的晚年。)
- もう一か月(を)経った。(已过了一个月。)

3. 表示动作的起点、分离点。后续动词以分离性动词为主，常见的有「降りる / 出る / 去る / 飛び出す / 出発する / 離れる / 卒業する」及「出航 / 出港 / 出庫 / 出国」等以「出」为主干组成的音读汉字サ变动词。

- 去年、大学を卒業したのです。(我是去年大学毕业的。)
- 故郷を離れて、大都会の上海へ行きます。(离开故乡到大都市上海去。)